

2022(令和 4)年度 「しれとこ 100 平方メートル運動」における イワウベツ川での河川環境の改善に向けた取り組みについて

斜里町・公益財団法人知床財団

「しれとこ 100 平方メートル運動」の生物相復元事業では、運動地の中央を流れるイワウベツ川において、サクラマス等の復元およびカラフトマス・シロザケの自然産卵促進、河川環境の改善に向けて 1997 年より取り組んでおり、2022 年度は 25 年目にあたる。

上記 3 項目の内、河川環境の改善の取り組みにおける盤ノ川橋脚下落差工への簡易魚道設置について進捗状況を報告する。

1) 盤ノ川における簡易魚道の設置についての進捗状況

- ・ イワウベツ川支流の盤ノ川に掛かる勝利橋（斜里町所管）の橋下には約 2m の落差工があり（図 1）、サケ科魚類の往来および遡上の障害となっていた。昨年 9 月、上記の落差工へ簡易魚道を設置した（写真 1）。設計は（株）北海道技術コンサルタントの岩瀬氏に依頼し、重機を用いずに関係機関の職員など延べ 32 人により 2 日間で設置は完了した。構造材の一部には、当運動の森林再生作業で発生したアカエゾマツ間伐材を有効活用した。
- ・ 設置後の約 1 年間は自然の水流に委ねて河床路を形成させてから、流速が緩やかな溜まり部分を造成する等の必要な修正を行う予定であった。
- ・ 2021 年 11 月 9 日に発生した記録的な豪雨によって、簡易魚道上部が破損する被害が確認された（写真 2）。直ちに設計者と現地調査を行い、増水した川水が橋の真下を通過する際に護岸擁壁にぶつかって右岸へと向かう強い流れに変わり、魚道に対して想定以上の負荷をかけていたことが判明した。
- ・ 増水時に発生する変則的な流れにも耐え得る構造に再設計を依頼し、今年度の 9 月に修繕を行う予定である（表 1）。



写真 1. 完成直後の盤ノ川簡易魚道



写真 2. 豪雨により破損した盤ノ川簡易魚道

表 1. 2022 年度のスケジュール

2022 年 4～7 月	実施計画策定・設計
8 月	中旬：許認可申請（斜里町→環境省） ボランティア募集 *注 1
9 月	上旬：改良前モニタリング（落差工上下流側の魚類生息状況確認。動画撮影等） 資材運搬等の事前準備 下旬：設置作業本番（1～2 日間程度想定）
10 月～	上旬～：改良後モニタリング・手直し
2022 年 1 月～	実施結果取りまとめ・次年度計画策定

*注 1：コロナ禍を鑑み、呼びかけ範囲については今後検討。

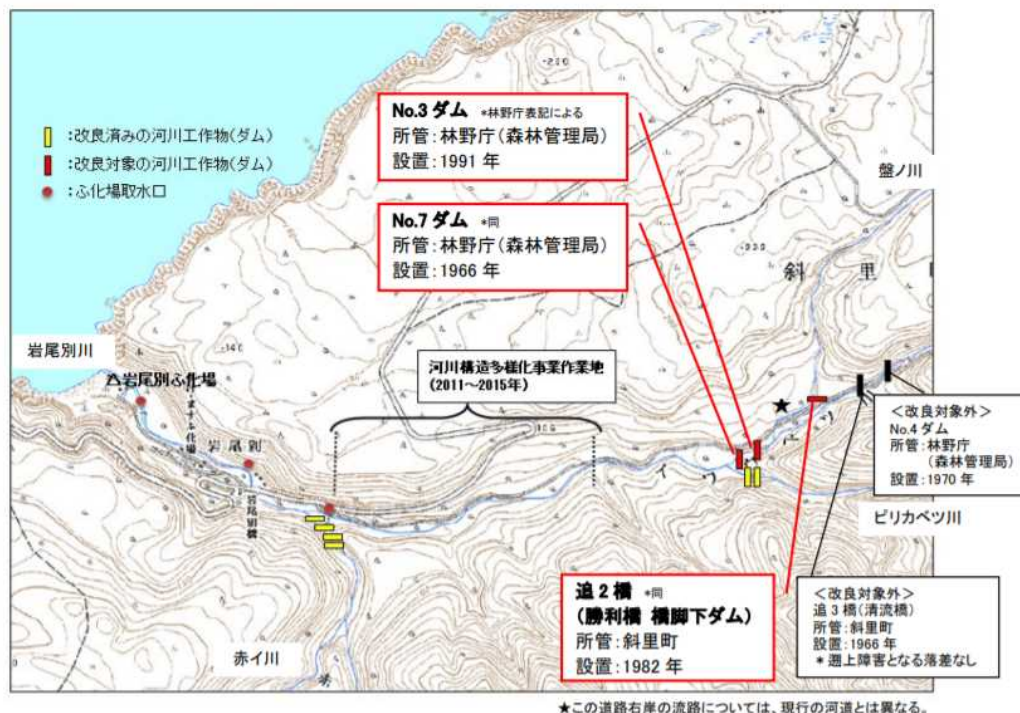


図 1. イワウベツ川における改良対象の河川工作物